

令和2年度 上武大学 大学院経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	税務会計演習Ⅰ（法人税法関係）		担当教員	佐々木 一義		
	英語授業科目名	Seminar on Tax Law Ⅰ		単 位	4	学 期	通年
対象年次	1年次	クラス指定		他との関連			
履修条件	大学学部での履修や実務経験等を通じて基礎的な租税法に関する知識を修得していること						
テーマ・副題	高品質の学術論文の完成に向けた準備						
授業の教育目的・目標	修士論文作成のための指導を行うが、特に、税理士法7条2項に基づいて国税審議会の認定により税理士試験の科目免除を目指す受講生のために、厳格に同項にいう「税法に属する科目等」を遵守し研究論文を作成するための指導を行う。						
授業の理解度の到達目標	受講生各自の問題意識に基づいて、租税法に関する上質の論文を精読することにより、法的思考力・法的问题解決能力を醸成するとともに、実践的な論文作成技法の修得を図る。						
授業キーワード	法的・論理的思考						
授業の内容	基礎から始める租税法論文の作成						
授業の方法	① テキストに基づく租税法論文作成についての講義 ② 受講生による租税法関連論文（先行研究）に関する研究発表と討議						
授業展開	1. 講義ガイダンス 2. 租税法論文とは(1) 3. 租税法論文とは(2) 4. 租税法論文とは(3) 5. 租税法論文の書き方(1) 6. 租税法論文の書き方(2) 7. 租税法論文の書き方(3) 8. 租税法論文の書き方(4) 9. 租税法論文の書き方(5) 10. 租税法論文の書き方(6) 11. 租税法論文の書き方(7) 12. 租税法論文の書き方(8) 13. 租税法論文の書き方(9) 14. 租税法論文の書き方(10) 15. まとめ			16. 租税法論文研究発表と討議(1) 17. 租税法論文研究発表と討議(2) 18. 租税法論文研究発表と討議(3) 19. 租税法論文研究発表と討議(4) 20. 租税法論文研究発表と討議(5) 21. 租税法論文研究発表と討議(6) 22. 租税法論文研究発表と討議(7) 23. 租税法論文研究発表と討議(8) 24. 租税法論文研究発表と討議(9) 25. 租税法論文研究発表と討議(10) 26. 租税法論文研究発表と討議(11) 27. 租税法論文研究発表と討議(12) 28. 租税法論文研究発表と討議(13) 29. 租税法論文研究発表と討議(14) 30. まとめ			
成績評価方法	課題の発表内容（60%）および授業への取組み姿勢（40%）を評価要素とする。						
成績評価基準	総合点が80点以上をA、79～70点をB、69～60点をC、59点以下をDとする。						
テキスト	斉藤孝=西岡達裕『学術論文の技法（最新版）』（日本エディタースクール出版部） 石黒圭「論文・レポートの基本」（日本実業出版会）						
参考図書	適宜授業中に指示する。						
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	先行研究論文あるいは判例評釈について研究発表するための事前準備						
学生へのメッセージ	「他人の書物の要約」・「他人の説を批判しただけのもの」・「引用だけを並べ自分の考えがないもの」は論文ではない。また、「列挙した内容がテーマに関連がない・論拠なく結論が導きだしている」。それで「書き直し」の繰返し。それが論文作成です。苦しむだけ、達成感も大きい。よき指導者でいたい。						
オフィスアワー	授業前後の時間						
連絡先	電話番号		メールアドレス				
人数制限	なし						